

# ジモトを知る

知っているようで案外知らないことの多い自分の住んでいる町・地域のこと。おもしろいことや楽しいことが足元にたくさん転がっています。一度、自分の住んでいる町や地域のことを目を向けてみませんか？



# ジモトで遊ぶ

## ジモトを知る ナウマン象化石骨 発掘再調査



令和元年から続くナウマン象化石骨の発掘再調査。今年5日間の日程で行いました。今回は、昨年発見したくぼみの詳細な調査を中心に行いました。1頭の象による複数の足跡、つまり歩いた跡が見つければと挑んだ調査でしたが、くぼみはいずれも象のものではなさそうです。しかし、動物の足跡である可能性は高く、これまで見つかった象以外の化石骨であるヘラジカ、もしくはその他の動物足跡かもしれない。詳細は現在、調査中で、来年の2月頃には判明する予定です。また、今年の調査では、地域おこし協力隊の本藤隊員の企画による「発掘見学ツアー」が開催され、多くの方が参加。調査現場では調査の様子を見学するほか、調査員から忠類ナウマン象の重要性の説明を受けるなど、普段の生活では触れることのない貴重な体験となりました。

## 高木菜那ちゃんといっしょにジモト食材を活用したカレーを

### ジモトを食す



町内の子ども食堂「みんなでおうちごはん」と町内の有機野菜生産者で構成している「まくべつオーガニック給食実行委員会」が手を組み、有機野菜の活用を知り、考えてもらうためのイベント「高木菜那ちゃんといっしょにオーガニックカレーを食べよう」を開催。イベント名にあるとおり幕別町応援大使で元スピードスケート日本代表の高木菜那

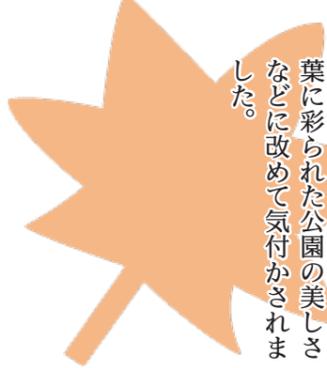
さんをゲストに迎えて行われました。午前は、参加した子どもたちと菜那さんが体を動かすゲームを楽しみます。お昼にはこのイベントのメインともいえるオーガニックカレーを参加者全員でいただき満足。普段と違ったカレーに子どもたちも戸惑いながらも口々に「おいしい」を連発。午後は、菜那さんと生産者団体代表の折笠健さん、子ども食堂代表の千葉智子さんによるトークセッション。菜那さんの給食にまつわるエピソードなど、笑いを交えながらも有機野菜の重要性を参加者に説きます。特に「健康のためだけでなく、環境への配慮からも有機農法は重要」との言葉は印象的でした。地元産の食材を味わいながら環境に思いを巡らせる1日となりました。

関連14ページ「環境に配慮した持続可能な農業」

## ジモトで遊ぶ

# ピラリノ森 フェスタ

10月23日、明野ヶ丘公園で「ピラリの森フェスタ」が開催されました。このイベントは、明野ヶ丘公園と幕別の未来を考えるワークショップ「ファン・プロジェクト・まくべつ」主催によるもので、秋の明野ヶ丘公園の楽しさを多くの人に体験してもらうために企画されました。公園の落ち葉を使ったき火で幕別産のサツマイモを焼く「焼き芋大会」は販売開始早々に売り切れるほどの人気を集めます。子どもたちが楽しむのは「森であそぼう」のコーナー。木登りやハンモック、木の枝を利用して架けられたブランコなど自然を堪能します。落ち葉をたっぷり敷き詰めた「落ち葉のプール」では元気に落ち葉の中に飛び込む姿も見られました。



「森であそぼう」の運営には、地元の高校、幕別清陵高校の生徒がボランティアで参加。子どもたちが安全に遊べるよう細心の注意を払い、サポートをしてくれました。また、会場には十勝管内から多くのキッチンカーが集結し、味覚の面からも来場者を楽しませます。秋深まる明野ヶ丘公園で開催された「ピラリの森フェスタ」。このイベントを通じて、今まで気に留める機会が少なかった地元公園の楽しさや、深まる紅葉に彩られた公園の美しさなどに改めて気付かされました。